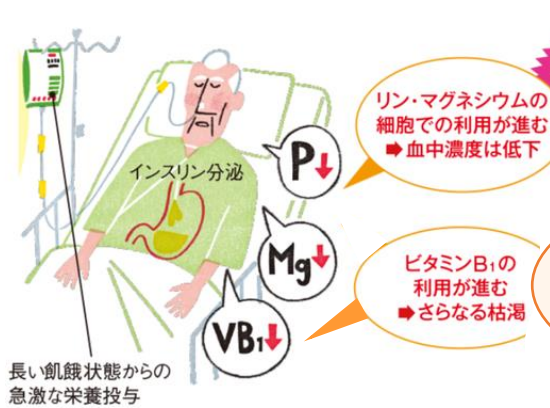




リフィーディング症候群

Q1. リフィーディング症候群って何？

慢性的に摂食不良の患者さんが、急激に十分量の栄養を摂取することで発症する代謝合併症の総称です。



心不全、
不整脈、呼吸不全、
意識障害
など

糖からのエネルギー産生にはビタミンB1が必須です
ビタミンB1が欠乏すると
エネルギー産生効率が悪いばかりか
乳酸が蓄積し乳酸アシドーシスとなります

長い飢餓状態からの
急激な栄養投与

Q2. リフィーディング症候群の発症メカニズムは？

長期間 摂食不良の状態が続くと、細胞内のリン(P)やマグネシウム(Mg)などが、慢性的に不足状態となります。この状況下で一気に糖が補給されると、インスリン分泌が亢進し、エネルギーを作り出すために細胞内に P や Mg が取り込まれるため血中濃度がさらに低下し、心不全、不整脈、呼吸不全、意識障害などの危険性が高まります。各種ビタミンも欠乏状態にあるため、特にビタミン B1 の枯渇による乳酸アシドーシスにも注意が必要です。

ここが
大事!

Q3. リフィーディング症候群の発症を防ぐには？

高リスク患者の場合、低カロリーから開始し、少なくとも4~5日はかけて徐々にアップしていきます。
低カロリーの目安は、現体重に対する1日エネルギー消費量の25~50%以下です。

高リスク患者判断基準

観察
ポイント

● 下記基準が1つ以上

- BMI (kg/m²) が16未満
- 過去3~6か月で15%以上の意図しない体重減少
- 10日間以上の絶食
- 再摂取前の低カリウム血症、低リン血症、低マグネシウム血症

● または、下記基準が2つ以上

- BMI (kg/m²) が18.5未満
- 過去3~6か月で10%以上の意図しない体重減少
- 5日間以上の絶食
- アルコール依存の既往、または次の薬剤の使用歴がある：インスリン、化学療法、制酸薬、利尿薬

日本 むかしばなし

豊臣秀吉は、兵糧攻めの後、飢餓でフラフラになって城から出てきた兵士たちに、大釜でお粥を振舞ったそうです。

ところが、このお粥を食べた兵士のほとんどが死んでしまいました。これはリフィーディング症候群であったと考えられています。

秀吉は はたして
リフィーディング症候群
の存在を知っていたの
でしょうか？

